

石岡市

財政のあらまし

市では、税金や国からの補助金などがどのくらい入り、どのように使われているかという、市の家計簿ともいうべき財政事情書を年2回（2月・8月）公表しています。

今回は、令和7年12月31日現在の財政状況をお知らせします。

令和7年度一般会計予算

収入と支出の状況

令和7年度一般会計の当初予算額は348億3000万円でしたが、前年度からの繰越額18億8779万円、補正予算額9億9140万円を加えて、12月末の予算現額は377億919万円です。12月末までの収入済額は238億2407万円（予算に対する収入割合は63.2%）、支出済額は205億5765万円（予算に対する支出割合は54.5%）です。

令和7年度特別会計予算

収入と支出の状況

特別会計は、使用料や保険料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。現在、市には9つの特別会計があります。

特別会計全体の当初予算額（企業会計を除いた額）は167億3805万円でしたが、補正予算額1億450万円を加えて、12月末の予算現額は、168億4255万円です。12月末までの収入済額は99億614万円（予算に対する収入割合は58.8%）、支出済額は104億2193万円（予算に対する支出割合は61.9%）です。

■企業会計の収入と支出

水道事業会計

		予算現額 (12月末日)	収入済額 支出済額 (4月～12月)	予算に対する割合
収益的収入	収入	6億5,345万円	3億4,223万円	52.4%
および支出	支出	6億5,345万円	2億6,626万円	40.7%
資本的収入	収入	3億1,574万円	8,280万円	26.2%
および支出	支出	4億6,990万円	1億2,069万円	25.7%

公共下水道事業会計

		予算現額 (12月末日)	収入済額 支出済額 (4月～12月)	予算に対する割合
収益的収入	収入	23億7,587万円	14億2,760万円	60.1%
および支出	支出	19億2,207万円	3億8,493万円	20.0%
資本的収入	収入	11億9,580万円	1,949万円	1.6%
および支出	支出	24億2,635万円	8億9,163万円	36.7%

農業集落排水事業会計

		予算現額 (12月末日)	収入済額 支出済額 (4月～12月)	予算に対する割合
収益的収入	収入	4億7,213万円	3億3,373万円	70.7%
および支出	支出	3億5,711万円	7,794万円	21.8%
資本的収入	収入	2,961万円	22万円	0.7%
および支出	支出	2億1,559万円	1億404万円	48.3%

※水道事業・公共下水道事業・農業集落排水事業については、使用料により運営される企業会計となっています。

市が所有している資産	
土地	203万8,253.29平方メートル
建物	25万6,013.30平方メートル
基金	148億6,614万円
有価証券・出資金など	4億3,406万円

市の借入残高（令和7年12月末日現在）	
会計名	市債残高（借入残高）
一般会計	285億4,741万円
介護サービス事業	672万円
水道事業	13億2,990万円
公共下水道事業	95億6,315万円
農業集落排水事業	10億86万円
合計	404億4,804万円

■特別会計の収入と支出

	予算現額 (12月末日)	収入済額 (4月～12月)	予算に対する割合	支出済額 (4月～12月)	予算に対する割合
国民健康保険	73億9,667万円	43億685万円	58.2%	44億136万円	59.5%
駐車場	3,021万円	2,452万円	81.2%	442万円	14.6%
霊園事業	1,687万円	1,062万円	63.0%	929万円	55.1%
介護保険	78億1,112万円	44億3,729万円	56.8%	48億5,590万円	62.2%
介護サービス事業	3億4,214万円	1億6,868万円	49.3%	2億4,577万円	71.8%
後期高齢者医療	12億4,554万円	9億5,818万円	76.9%	9億519万円	72.7%
合計	168億4,255万円	99億614万円	58.8%	104億2,193万円	61.9%

市の財産とは？

財産とは、家計にたとえると、貯金や持ち家のことをいいます。

市が所有している財産のうち、土地・建物の主なものは、市役所庁舎・小中学校・公民館などの施設やその敷地などです。

基金は、将来のために蓄えておく預貯金のことです。必要に応じて取り崩して利用しています。主なものは、財政調整基金（約31.3億円）、減債基金（約11.4億円）、公共施設整備基金（約23.3億円）、学校施設等整備基金（約14.8億円）などがあります。

市債（借入金）とは？

市債とは、一般家庭でいう住宅ローンなどの長期借入金のことで、道路整備や施設の長寿命化など大規模な事業を実施するときに利用します。大きな施設は、長期間、世代を超えて市民に利用されるため、市民が公平に負担するという観点から、整備時に借り入れし、時間をかけて返済します。

令和7年12月31日現在の市債残高は約404億で、令和6年12月末より13.4億円ほど減っています。

■一般会計収入

	予算現額 (12月末日)	収入済額 (4月～12月)	予算に対する割合	説 明
市税	100億8,588万円	80億5,876万円	79.9%	市民税や固定資産税など
地方譲与税	4億4,806万円	3億69万円	67.1%	国税から配分される収入
地方消費税交付金	18億4,200万円	14億1,964万円	77.1%	地方消費税から交付される収入
地方交付税	73億円	73億7,531万円	101.0%	国から交付される収入
分担金・負担金	1億6,973万円	1億97万円	59.5%	受益者からの分担金・負担金など
使用料・手数料	2億537万円	1億4,915万円	72.6%	施設の使用料や証明手数料など
国庫支出金	62億9,217万円	38億6,885万円	61.5%	国から特定事業に交付される補助金など
県支出金	26億4,855万円	6億1,723万円	23.3%	県から特定事業に交付される補助金など
諸収入	5億8,915万円	1億6,404万円	27.8%	預金利子や貸付金元利収入など
市債	32億6,620万円	0万円	0.0%	公共施設整備等のための借入金
その他	48億6,208万円	17億6,943万円	36.4%	法人事業税交付金、地方特例交付金など
合計	377億919万円	238億2,407万円	63.2%	

■収入の予算に対する割合について

国・県支出金は、多くは事業完了後の収入となるため、現時点での割合は低くなっています。市債は、事業完了後に借り入れるため、現時点では未収入です。

市税負担の状況 （上段：対予算、下段：対収入済額）	
------------------------------	--

市民1人当たり	1世帯当たり
145,767円	313,782円
116,470円	250,716円

人口 69,192人
世帯数 32,143世帯
（令和7年12月末日現在）

■一般会計支出

	予算現額 (12月末日)	支出済額 (4月～12月)	予算に対する割合	説 明
議会費	2億7,403万円	2億1,080万円	76.9%	議員報酬・議会運営等の経費
総務費	44億2,913万円	26億7,759万円	60.5%	庁舎管理・市税の賦課徴収・選挙等の経費
民生費	134億9,464万円	79億4,131万円	58.8%	福祉事業・生活保護等の経費
衛生費	23億8,180万円	12億2,489万円	51.4%	医療・環境対策・ごみ処理等の経費
農林水産業費	10億4,598万円	7億5,235万円	71.9%	農林水産業の振興等の経費
商工費	6億9,025万円	4億5,941万円	66.6%	商工業の振興等の経費
土木費	52億3,038万円	22億3,126万円	42.7%	道路・公園等の建設や維持管理の経費
消防費	17億5,286万円	10億8,055万円	61.6%	消防・防災・救急活動・消防団等の経費
教育費	46億4,563万円	25億4,462万円	54.8%	学校・公民館・図書館等の経費
公債費	32億5,665万円	14億738万円	43.2%	市債（借入金）の返済経費
その他	5億784万円	2,749万円	5.4%	労働費・災害復旧費・諸支出金・予備費
合計	377億919万円	205億5,765万円	54.5%	

■支出の予算に対する割合について

土木費は、事業完了後の支払いが多く、その他の科目も、繰出金など年度末の状況を勘案し支出するものが多いため、現時点での割合は低くなっています。